

旧日本郷第一小学校跡地の 町の考え方について

◆◆◆地域の活性化と賑わいを創出するために◆◆◆

1. 今までの経過

(1)本郷第一小学校の歴史(大まかなもののみ、記載しています。)

- | | |
|----------|-------------------------|
| 明治 6年 5月 | 学制発布により、本郷小学校開設 |
| 昭和29年11月 | 町村合併により本郷町立本郷第一小学校と改称 |
| 昭和41年 6月 | 火災により校舎一部焼失 |
| 昭和43年 4月 | 新校舎完成(鉄筋3階建) |
| 昭和58年 5月 | 創立110年記念碑建立 |
| 平成 4年 4月 | 町名変更により会津本郷町立本郷第一小学校と改称 |
| 平成17年10月 | 町村合併により会津美里町立本郷第一小学校と改称 |
| 平成19年 4月 | 高田給食センターより配給開始 |
| 平成25年 3月 | 本郷第一小学校閉校【閉校時児童数292名】 |
| 平成25年 4月 | 統合の本郷小学校開校 |
| 平成30年11月 | 建物の解体工事 |

140年の歴史に幕が下ろされました。

(2) 跡地利活用検討会【平成30年9月～令和元年5月まで、計6回開催 委員数15名】

- | | | | |
|-----|-------------|-------------------------|--------|
| 第1回 | 平成30年9月14日 | 検討会設置の経緯、これまでの説明会開催内容説明 | ほか |
| 第2回 | 平成30年11月16日 | 現地確認、利活用の方向性 | ほか |
| 第3回 | 平成30年12月16日 | 先進地視察（田村市テレワークセンター | テラス石森） |
| 第4回 | 平成31年1月16日 | 利活用案の検討（ワークショップ方式） | ほか |
| 第5回 | 平成31年3月2日 | 利活用方針の検討・とりまとめ | ほか |
| 第6回 | 令和元年5月11日 | 利活用方針の最終とりまとめ | ほか |

◆いただいた方針◆

旧本郷第一小学校跡地利活用検討会の跡地利活用方針の位置づけとして、住民が本郷での暮らし・学びを充実させ、その魅力を発信し、地域活性化の拠点となることを目的として以下の3つの理念を提案する。

- ・ **本郷地区に賑わいを創出するための場所**
- ・ **コミュニティを形成することができる場所**
- ・ **子どもが自由に遊べる場所**

(3) 令和元年度から令和2年度の町の取り組み

○公共施設長寿命化計画（個別施設計画）策定

- ・ 少子高齢化に伴う人口減少等による財源不足の中、社会福祉や高齢者福祉等に係る歳出は増加傾向にあり、更なる支出縮減が求められており、公共施設の維持管理においても費用縮減の必要がある。
- ・ 限られた財源と住民サービスの維持・向上をバランスよく取り、公共施設を「賢く使う」ことで効果を最大限に引き出すための取り組みが求められる。
- ・ 公共施設の現状を把握し、中長期的な見込みと各施設の維持管理方針を示す。

○計画の内容（本郷地域のみ抜粋）

- ・ 本郷庁舎の複合的活用（公民館機能・福祉的機能・支所機能）【令和4年度】
- ・ 本郷こども園（幼児部）の新築【令和6年度】
- ・ 本郷生涯学習センター、本郷老人福祉センター、本郷体育館の解体【令和7年度】

2. 町の跡地利活用の考え方

(1) 町の現状

○閉校から7年、校舎の解体から2年→更地のままでは、「もったいない」

○町民アンケートの結果・・・「遊べる公園的なものが欲しい」との意見有。

○令和3年度からの会津美里町公共施設長寿命化計画（個別施設計画）の考え方



供給量の適正化、既存施設の有効利用、効率的な管理運営

(新たなハコモノは作らない) (複合化・類似施設の統廃合等) (民間等への売却・貸出)



跡地の有効的な利活用が必要となる。

(2) 跡地に期待する機能

①子育て支援機能の確保

【本郷こども園でこどもが遊ぶ姿】



②賑わい創出・コミュニティ形成や防災のための広場
【賑わい創出としての公園】



【コミュニティの形成例】



【防災公園】



現在の町に必要とされるこういった跡地利活用としたいと考えています。